



プログラミング教育の推進校

日本の風物詩の中で欠かせない鯉のぼり、最近ではあまり見かけなくなりましたが、鯉は古来より立身出世のシンボルで、鯉が滝を昇って龍になったという中国の故事に由来しています。5月はまさしく鯉が川をのぼっていくかのごとく、子供たちが目標に向けて元気よく走り出し、大きく一步を踏み出す時期です。ご家庭で、地域の中で大いに励ましてあげてください。

さて、先日の保護者会には、多くの方にご出席をいただきましてありがとうございます。挨拶の中で「プログラミング教育」ということをお伝えしましたが、今回はそのことについてふれさせていただきたいと思います。

先日、新聞記事の中で、「コンピュータは今よりももっと人間のそばで使われる時代が来る。代表格が、腕時計のように身につける『ウェアラブルコンピュータ』の普及が益々多くなる。」というものがありません。その記事を読みながら、私が小学生の頃に夢中になっていたテレビ番組「ウルトラセブン」をつい思い出してしまいました。テレビの中で活躍するウルトラ警備隊が身につけていた「ビデオシーバー」なるものがあったのをご存知でしょうか。ちょっとマニアックになりますが、耐熱、完全防水の腕時計型通信機で、モニターには鮮明な映像が表示されるという優れものです。子供ながらに、「いつかは、僕もあのような通信機を持つ時代が来ればいいな」と思って、半信半疑で未来の予想をしていたものです。新聞を読みながら、その頃未来を描いていた自分のことを思い出し、「ウェアラブルコンピュータ」の普及は、まさしくウルトラ警備隊の「ビデオシーバー」と重なってしまいました。

これからの時代は、急速に進行し、子供たちを取り巻く環境は大きく変わっていきます。AIの導入で何の努力もせずに任せておけばよい時代になるかもしれません。しかし、変化に対応できるように新しい知識や技能を学校教育の中でしっかりと学んでいく必要が出てきたのです。

コンピュータをより適切に効果的に活用していくためには、その仕組みをしっかりと知る必要があります。操作するのは人であり、目的に応じて機械を活用し命令していくのも人です。機械に振り回される社会になっては、主体的な生活や危険を回避していくことはできません。

そこで、本校では、平成32年度から全小学校で実施される「プログラミング教育」の先駆的な指導内容・方法を提案すべく、市内小中学校の牽引的役割を担うことになりました。具体的には、PCを活用した簡単な「プログラム理論」や実際にPCに命令を与える「プログラミング」の授業を計画しています。また、各教科の指導の中や情報モラルとのかかわりも模索していきたいと考えています。

時代の変化は、予想できないくらい急速に進行していきます。5年後、10年後の社会を簡単に予想することは不可能です。未来を生き抜く子供たちにとっては、身につけるべき知識・技能は増えていきますが、鯉が滝を昇っていくかのごとく、時代の変化に対応できるよう大きく成長してほしいと願っています。

◇ 5月の行事予定

※木曜日はスクールカウンセラーの出勤日です。

1日(火) 遠足(3年)	運動会団体競技練習 眼科検診(124年)
2日(水) 遠足(1年)	17日(木) 運動会全校練習②
※3日(木)～6日(日) 連休	21日(月) 運動会係活動② 教育実習始
7日(月) 委員会	22日(火) 運動会全校練習③
8日(火) 遠足(2年)	23日(水) 運動会団体競技練習②
9日(水) 大規模地震対応訓練(引き取り訓練)	24日(木) 運動会全校練習④
10日(木) 児童集会、耳鼻科検診(全)	25日(金) 運動会前日準備
※12日(土) 秋多中学校 学校公開日	26日(土) 運動会
14日(月) 運動会係活動①	28日(月) 振替休業日
15日(火) 運動会全校練習① 眼科検診(356年)	30日(水) 心臓検診(1年) 集団下校訓練
16日(水) 「いじめについて考える日」	31日(木) 児童集会 プール清掃(5年)

